

教師を目指して 滋賀の教師塾開講



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部
彦根市金亀町4番7号



▶藤井先生(右奥)は米原高校で社会を担当されている。

9月6日に本校SS教室で高校生に教員の魅力とやりがい伝え、教員志望者の拡大を目的とした「高校生のための『滋賀の教師塾』出前講座」が行われた。生徒22名が参加し、現在滋賀県で教員をしている本校卒業生4名とグループ座談会を行った。

9月6日の放課後、「高校生のための『滋賀の教師塾』出前講座」が開講した。「滋賀の教師塾」は滋賀県の学生や社会人で教職志望者を育成する試みで、今回は出前講座として高校生に向けて本校で行われた。始めに滋賀の教師塾事務局長で滋賀県教育委員会事務局教職員課の草野圭司さんが「教師塾は教員志望の人を支援し、豊かな人材を育てるためにある。『人生の一つのあり方』としての教師を考へてほしい」と話された。次に生徒を4つのグループに分けグループ座談会を行った。

滋賀県立日市養護学校
澤野真歩 教諭

澤野先生は「高校3年生の春まで教師になろうとは思っていなかった。栄養士の養成科がある滋賀県立大学に行くと、教員免許を取ると決めた」と1・2年の間は目標が決まっていなかったことを話された。

滋賀県立米原高校
藤井克幸 教諭

藤井先生は「高校時代勉強と部活で苦しい思いをしていたとき、先生に優しい言葉をかけてもらった。自分も周り



▲白谷先生(中央奥)と熱心に話を聞く生徒達

を元気づけられる人になったと思う」と先生になった理由を話された。

長浜市立西浅井中学校
鈴木梨紗 教諭

鈴木先生は「生徒の『わかった』を聞きたくて先生になった。でもある生徒との関係がこじれて話を聞いてもらえなくなった。他の先生からアドバイスを貰いながら反応してもらえるように頑張っている」と問題を口にした。

米原市立植原小学校
白谷理絵子 教諭

白谷先生は「『○○大学に行く』ではなく『○○に行く』ために合う大学を選んでおくと楽。勉強は難しいし大変だと思うが、部活や友達との関わりなど高校生の間にしかできないことを大切にしてほしい」とエールを送られた。最後に草野さんは「みんながいきいきと交流できた。良い先生を増やすための活動の一つでもあるが、先生以外にも将来について考える機会になればいいと思う」と感想を述べられた。